



## 決勝レポート

### 2013/4/14 Rd-1 鈴鹿サーキット

天候：薄曇り 気温：15.5℃ 出走台数：19台

観客数：13日(土)21,000人、14日(日)29,000人 合計50,000人

2013年開幕戦 鈴鹿サーキット。新スペックタイヤと、熟成を極めたマシンにより、さらに高速化したスーパーフォーミュラマシンで戦う300Kmのレースは、ドライバーの体力と集中力、チームの戦略とピットストップ、すべてが揃わないと上位フィニッシュはかない。

伊沢選手はポールポジションから抜群のスタートを見せ首位で、武藤選手もポジション維持でオープニングラップを周回した。しかし伊沢選手は、直後のS字コーナーで、ガソリン搭載量少なく軽いマシンでスタートした小暮選手にパスされてしまう。ここでチームは戦略の違う小暮選手を無理に追わず、チームインパルの動向を注視しながら百分の1秒を刻んでまだ見えないゴールを目指す。

27周目、まず伊沢選手がピットイン。ミスなくピット作業を終え、戦略通りチームインパルと小暮選手を押えて首位でコースへ戻るが、まだタイヤが十分に温まっていない伊沢選手は、先に作業を終えた小暮選手にパスされ、再び2位にドロップ。約2秒の差を削りながら周回を重ね続ける膠着状態へ。そのまま迎えた残り2周、小暮選手の車両のペースがやや落ちたすきをついて、ついに伊沢選手が首位へ。そのままファイナルラップを迎え、開幕戦をポールtoフィニッシュで飾った。

武藤選手は、ピットイン後の第2ステイントで首位同等のラップタイムを連発し、前を追うが届かず、13位でレースを終えた

#### 40：伊沢選手 優勝

とても嬉しいです。スタートは上手くいきましたが、小暮選手に先行を許すことになってしまいました。戦略の違う小暮選手や、チームインパルの2台との戦いに、ラッキーもありましたが、とにかく攻めて攻めて、諦めることなく戦ったチームの勝利でした。もっと速く、強く、パフォーマンスアップして、今シーズンを戦って行きます。

#### 41：武藤選手 13位

第1ステイントでタイムを上げられず、車両が重い状態でのペースアップが課題です。第2ステイントはトップに遜色ない走りが出来たので、予選の重要さを改めて感じました。課題だらけの第一歩となりましたが、チームと共に前進します！